

表 RelatedPatient リソース 患者関係者情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
1	resourceType					“RelatedPatient”	RelatedPatient リソースであることを示す
3	active			0..*	boolean		この関係者情報が有効なとき true。要素がなければ有効か無効かを利用者は考慮しない。
3.1	patient			1..1	Reference(Patient)		患者情報への参照。
	relationship			1..1	CodeableConcept	“同居の友人”	患者との関係。 Coding せず、text 記述のみとする。
4	name			1..1	HumanName		関係者氏名 漢字表記
4.1		extension		1..1	Extension		氏名が漢字表記かカナ表記かを区別するための拡張「iso21090-EN-representation」。
4.1.1			url	1..1	uri	“http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation”	拡張を識別する URL。固定値。
4.1.2			valueCode	1..1	code	“IDE”	漢字表記であることを示す固定値。
4.2		use		1..1	code	“official”	氏名が正式名称であることを明示するために、NameUse バリューセット (http://hl7.org/fhir/ValueSet/name-use) より「official」を必須で設定する。
4.3.		text		1..1	string	“東京 太郎”	氏名全体の文字列を text 要素に入れる。氏名の姓と名が分離できない場合は本要素のみを使用する。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
							姓と名の間には原則として全角空白を1個挿入する。
4.4		family		0..1	string	“東京”	氏名の姓。
4.5		given		0..*	string	“太郎”	氏名の名。ミドルネームがある場合には、ミドルネーム、名の順で原則として全角空白をいれて連結する文字列とする。
5	name			0..1	HumanName		よみ(カタカナ)
5.1		extension		1..1	Extension		氏名が漢字表記かカナ表記かを区別するための拡張「iso21090-EN-representation」。
5.1.1			url	1..1	uri	“http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation”	拡張を識別する URL。固定値。
5.1.2			valueCode	1..1	code	“SYL”	カナ表記であることを示す固定値。
5.2		use		1..1	code	“official”	氏名が正式名称であることを明示するために、NameUse バリューセット(http://hl7.org/fhir/ValueSet/name-use)より「official」を必須で設定する。
5.3		text		1..1	string	トウキョウタロウ	カナ氏名全体の文字列を text 要素に入れる。氏名の姓と名が分離できない場合は本要素のみを使用する。カタカナは JIS X 0208 のカタカナ(全角カナ)みとし、JIS X 0201 のカタカナ(半角カナ)は使用してはならない。姓と名の間には原則として全角空白を1個挿入する。
5.4		family		1..1	string	トウキョウ	カナ氏名の姓。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
5.5		given		1..1	string	タロウ	カナ氏名の名。ミドルネームがある場合には、ミドルネーム、名の順で原則として全角空白をいれて連結する文字列とする。
6	telecom			0..*	ContactPoint		関係者連絡先電話番号。複数を繰り返せる。
6.1		system		1..1	uri	“phone”	連絡手段 phone fax email pager url sms other
6.2		value		1..1	string	“090-9090-123”	電話番号
6.3		use		1..1	code	“home”	用途 home work temp old mobile
		rank		0..1	positiveInt		連絡優先順位 (1 が最優先)
		period		0..1	Period		連絡先がある時間帯や日時期間だけ有効な場合にその期間。
			start	0..1	dateTime		開始日時。
			end	0..1	dateTime		終了日時。
6	gender			1..1	code	“male”	関係者の性別。“male”または“female”または“unknown”。値は例示。
7	birthdate			1..1	dateTime	“1920-02-11”	関係者の生年月日。ISO8601 に準拠して“yyyy-mm-dd”形式。値は例示。
8	address			0..*	Address		関係者の住所。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
8.1		text		1..1	string	“神奈川県横浜市港区1-2-3”	住所文字列。値は例示。郵便番号は含めない。
		line		0..1	string	“1-2-3”	番地・通り名他。丁目、番地、通り名、マンション名、部屋番号、そのほか住所を構成する city までの部分以外のすべての文字列
		city		0..1	string	“横浜市港区”	市町村郡名、区名、大字名など。丁目や番地などを除く。
		state		0..1	string	“神奈川県”	都道府県名で、都道府県の文字を含む。例：東京都など（「東京」ではなく）。
8.2		postalCode		1..1	string	“123-4567”	郵便番号。値は例示。
8.3		country		1..1	string	“JP”	居住地が国内の場合「JP」固定。
	period			0..1	Period		関係者と患者との関係が有効である(あった)期間。
	communication			0..1	Backbone Element		関係者とコミュニケーションをとる際に使用する優先言語（日本語以外で明記したい場合に使用する）。
		language		1..1	Codeable Concept	“http://hl7.org/fhir/ValueSet/languages” “en”	言語のコード記述。 en:英語、zh:中国語、ko:韓国語、fr:フランス語、など。 http://hl7.org/fhir/valueset-languages.html 参照。